珠洲市三崎共同調理場
（中学校版）

2021．4．5(月)

生徒のみなさんへ

入学・進級おめでとうございます

明るく元気いっぱいの８名の１年生をむかえ、全校生徒２９名で新学期がスタートしました。新しい学年に向けて、希望や期待で胸がいっぱいのことでしょう。学校生活を充実したものにするためには、何よりも健康が大切です。食事はその大きな基礎となります。バランスのとれた食事を心がけ、それぞれの目標に向かって頑張りましょう。

今月の給食目標

給食のきまりを守ろう

新しい学年が始まりました。自分たちの学級をよりよくしていく意欲をもって、毎日の給食の準備や後片付けにも取り組んでいきましょう。充実した学校生活に、安全で楽しい給食は欠かせないものです。

◎給食当番は身じたくをきちんとしてから準備をしましょう

【帽子】
かみの毛が、給食の中に入らないようきちんと帽子の中にいれましょう。長い髪はゴムなどでまとめましょう。

【マスク】
つばや鼻水が、給食に飛ばないよう、口だけでなはく鼻までしっかりとおおいましょう。

【白衣】
汚れた白衣で準備をしないでください。いつも清潔な白衣を身につけましょう。

【手洗い】
石鹸を使って、丁寧に手を洗いましょう。つめ爪の間に汚れが溜まっています。しっかり洗ってください。

◎給食当番以外の人は食事にふさわしい環境をつくりましょう。

窓を開けて、教室の空気を入れかえる。

ゴミを拾って、教室を清潔にする。（手を洗う前）

机の上を、きれいに片付ける。

保護者の方へ

“食べることは、生きること”

「食べること」は「生きる」ために欠くことのできないものです。勉強したり運動ができるのも毎日、食べ物から栄養を取り入れているからです。育ちざかりの今はもちろんですが、大人になってからもずっと健康でいきいきと過ごしていくためには、子どものうちから望ましい食習慣を身につけておくことがとても大切です。

学校における食育とは

食育は、知育・徳育・体育の基礎となるもので、さまざまな経験を通して、食に関する知識と、自分自身で選択できる力を身に付け、生涯を通じて健康的な食生活を実践できる人を育てることです。学校では食育の中心となる給食のほか、教科等とも連携し、学校の教育活動全体を通じて取り組んでいきます。

食育で学ぶこと

- 食事の重要性やよろこび、楽しさを知る。
- 心身の健康と食の密接なつながりを理解する。
- 食品を自分で判断し、選択できる力を育てる。
- 食べ物を大切にし、感謝する心をもつ。
- 思いやりや社会性を身に付ける。
- 大切な食文化を未来に伝える。

昨年度から三崎共同調理場となり、調理員の吉田さん、小泊さん、北野さん、栄養士の松鶴の４名で給食を作っています。今年度も子どもたちの健やかな成長を願い、安心・安全でおいしい給食をお届けしたいと思います。引き続き、保護者の皆様のご理解と、ご協力をお願い致します。